

くまもと

☎ 議会だより

96号
2020.1.27



春を待つ

(毎床地区にて)

	12月の定例会	2~4
も	新年のご挨拶	5
く	一般質問における発言の要旨一覧	6
じ	一般質問	7~15
	市町村議会議員特別セミナーに参加して	16

補正予算4,400万円を可決

第9回12月定例会は、12月6日から11日までの6日間の日程で開催され、熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更1件、条例改正2件、工事請負契約の変更1件、令和元年度一般会計及び特別会計補正予算4件、任期満了に伴う球磨村固定資産評価審査委員の選任同意1件を原案のとおり可決、選任同意しました。

一般質問では、9人が登壇し、各種施策や行政課題について執行部の考えを質しました。

定例会初日の6日は、まず9月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会及び人吉下球磨消防組合議会の報告を行いました。

高澤康成議員の4名、2日目は、東純一議員、松谷浩一議員、嶽本孝司議員、舟戸治生議員、多武義治議員の5名が登壇。

主なものは、高齢者生活福祉センターせせらぎの空調設備改修工事のほか、渡多目的集会施設近くの災害時避難者用の駐車場用地と村有住宅一勝地永崎団地の住宅建設用地購入費、3月

価格について、妥当性及び公平性を踏まえた定義を要するとして、予算案への否決意見がありました。

【条例改正】

①球磨村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

続いて、熊本県市町村総合事務組合の規約の一部変更1件、条例改正2件、工事請負契約の変更1件、令和元年度の一般会計及び国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、簡易水道特別会計の補正予算4件、固定資産評価審査委員会委員の選任同意1件の9議案を上程しました。

組合の廃止、共助のむらづくり、農業の振興、商工業の振興、高齢者にやさしいむらづくり、子どもはむらの宝、防災対策、地方公務員法の改正に伴う本村の改正事項についてなど多岐にわたって執行部の考えを質しました。

総務費の用地購入費について議会全員協議会での審査要求があり、本会議を中断して全員協議会での審査を行い、可決・否決のそれぞれの意見があったことから、本会議において起立採決を行い賛成多数で原案のとおり補正予算を可決しました。

令和元年人事院勧告に基づき、初任給及び若年層の月額給与及び、一般職の6月と12月に支給する期末勤勉手当の支給率を1年あたりで0.05月分引き上げるとの条例改正。

【一般質問】

一般質問は、9日と10日の2日間行われ、初日は、犬童勝則議員、田代利一議員、小川俊治議員、

令和元年度一般会計補正予算を審議、可決

補正予算では、最終日に令和元年度の一般会計補正予算の審議を行いました。

4,407万6千円を追加し、歳入歳出総額43億9,771万2千円となりました。

②球磨村税条例の一部を改正する条例

※村が取得する公共用地の購入

個人の村民税及び固定資産税の前納報奨金については、税金の納付方法で口座振替が普及し、

納税者間に不公平感が生じている状況であり、また既に熊本県内の本村以外の市町村では前納報奨金制度が廃止されていることから、令和2年度から前納報奨金を廃止する内容の条例改正。

【工事請負契約の変更】

村道渡大槻線道路災害復旧工事で、実績額が当初契約額を下回ることから、契約金額を、7,311万6千円から7,301万6千47円に変更するもので審議の結果原案のとおり可決されました。

【人事関係】

村の特別職である固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴う選任同意で、糸原善行さんの後任として小川成正さんを全会一致で選任同意しました。

・固定資産評価審査委員会委員

小川成正さん（小川地区）

一般会計補正予算審議（抜粋）

村有住宅一勝地永崎団地用地購入費

小川俊治議員：土地の価格が下落傾向のなかで、購入予定価格が整合性のとれた住民へ説明できる土地購入額であるのか？

舟戸治生議員：土地の価格は、その周辺環境が変わってくると思う。定住に結びつく政策予算であれば賛成。

高澤康成議員：将来的にも用地取得に対しては、執行部に対する不信感の無い整合性のある内容と宅地分譲も含む定住対策であれば賛成。

松谷浩一議員：村有住宅建設を急ぐべきか、若者の世帯分離による核家族化が進み山間地域集落の人口減少が続くのでは？

住宅建設は十分検討し他に最優先する事業へ予算配分しては。

田代利一議員：地元で生活したい若者が、結婚して住居を求め村外に転出している。

そうした若者の気持ちを思えば、早急に一勝地永崎団地の整備は必要。

宅地分譲も含めた定住対策の検討による事業推進に賛成。

答え：購入予定地は、中学校や振興センター、せせらぎの球磨村の公共事業のために提供された代替え地の購入価格で購入する。

一勝地永崎団地では宅地分譲は行わず、今後別の場所で検討していきたい。一勝地永崎団地は待ち望まれる村有住宅の建設を急ぎたい。

※土地購入費について賛否の意見があり、一般会計補正予算については起立採決を行い賛成多数で可決しました。（審議結果4ページに掲載）



定住促進一勝地永崎団地

12月定例会 議案等の審議結果

日程	議案番号	件名	結果
第1	議案第56号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	原案可決
2	議案第57号	球磨村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
3	議案第58号	球磨村税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
4	議案第59号	工事請負契約の変更について	原案可決
5	議案第60号	令和元年度球磨村一般会計補正予算について 東 犬童 高澤 舟戸 田代 松野 賛成：6名 松谷 小川 嶽本 反対：3名	原案可決
6	議案第61号	令和元年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
7	議案第62号	令和元年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
8	議案第63号	令和元年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決
9	同意第5号	球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案同意

「村民が安心して暮らし続ける 地域社会づくりを目指して」



明けまして
おめでとござい
ます。

令和最初と
なる新時代の
輝かしい新年を迎え謹んでご挨拶
を申し上げます。

村民の皆様には健やかに新春を
お迎えのこと心からお慶び申し
上げますと共に、日ごろより議会
活動に對しまして温かいご理解と
ご協力を賜り、厚くお礼申し上げ
ます。

平成の時代を振り返ってみます
と、平成7年阪神淡路大震災、平
成23年東日本大震災、平成24
年九州北部豪雨災害、平成28年
熊本地震といった自分たちの住む
身近な地域においても大規模な自
然災害に見舞われました。

そのような中で、本村では災害
に強い村づくりを目指し、村民防
災会議本部会議・ブロック会議の
開催と自主防災組織の編成強化を
図りながら、「自分の命は自分で守
る」といった地域の防災力を高める
とともに、現在役場横には村の防
災拠点施設となる「防災センター」

を建設中で、ハード・ソフトの両
面から防災体制の強化が図られて
います。

こうした防災面以外にも、少子・
高齢化及び人口減少問題、農林水
産・商工観光の振興、保健・福祉・
教育・文化の充実など本村が抱え
る課題は山積しており、第6次球
磨村総合計画を着実に前へ進めな
がら村政に對する村民の満足度が
より一層向上するよう努めてまい
りたいと考えております。

村の財政状況を見ますと、国の財
政施策などに大きく左右される脆
弱な財政構造から、今後も厳しい財
政運営が続くものと思われれますが、
村議会といたしましても、村の予算
に對する監視機能を十分に果たし、
さまざまな課題に對し、積極的に
取り組んでまいりたいと存じます。

今後の厳しい時代に向かつて、
各事業を確実に実行し、将来にわ
たって本村の安定した財政基盤の
確立を目指して行かなければなら
ないと考えております。

球磨村議会としましては、村民
の皆様の声を村政に反映していく
ことを第一としながら、より開かれ

た議会の実現を目指して、より多
くの村民の皆様により深く議会活
動を理解していただけるよう、村
民目線に立った「議会だより」の
編集に取り組んでおります。

さらに、地域の振興と住民福祉
の向上のため、村民一人ひとりが
安心安全な暮らしを実現できる地
域社会を構築するように、村民の
皆様の負託にお応えすべく努力を
続けてまいります。

村の各種計画の目標達成に向け
て、二元代表制の一翼を担う議会と
して村執行部と連携し一体となり、
村民の皆様のご理解とご協力を得
ながら、村政発展に努めてまいり
たいと考えております。

結びに、厳しさを増す地方自治
体にあつて球磨村が一層発展しま
すことと共に、皆様にとりまして、
本年が実りある飛躍の年となりま
すよう心からご祈念申し上げます
と、年頭に当たつてのごあいさつ
とさせていただきます。

令和2年1月吉日

球磨村議会議長 多 武 義 治

《全国町村議会議長会表彰》

浦野千尋さんが、令和元年11月13日に開催され
た全国町村議会議長会創立70周年記念式典（東京都
NHKホール）において、町村議会議員として30年
以上在職し功勞のあった者として、松尾文則全国町村
議会議長会長から表彰されました。



一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨	頁
犬童勝則議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本で最も美しい村連合 ② 中山間地における農業振興 ③ 農福連携 	7頁
田代利一議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 企業版ふるさと納税 ② 地球温暖化防止対策の啓発 ③ 会計年度任用職員、職員の働き方改革 ④ 村長選挙 	8頁
小川俊治議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 第6次球磨村総合計画の具体的な施策の実施 <ul style="list-style-type: none"> (1) 農林業の振興と観光資源の活用の取り組み (2) 共助のむらづくり 	9頁
高澤康成議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 球磨村公営住宅・単独住宅の計画的管理 ② 納税組合の廃止 ③ 子どもは村の宝・子育て・教育・社会体育 	10頁
東 純一議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 伝統芸能の保存 ② 村道、県道に対する対応 ③ 税金の納税 ④ 避難所におけるインターネットの活用 	11頁
松谷浩一議員	<ul style="list-style-type: none"> ① プレミアム商品券 ② 防災対策 ③ 商工業の振興 	12頁
嶽本孝司議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 空き家対策 ② 鳥獣被害 ③ ハイスクールバスの方向性 	13頁
舟戸治生議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 災害対策 ② 交通事故防止対策 ③ 移住・定住促進 ④ 高齢者にやさしいむらづくり ⑤ ひきこもり支援 	14頁
多武義治議員	<ul style="list-style-type: none"> ① 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う本村の改正事項 	15頁



日本で最も美しい村 (毎床満)

今後、さらに啓発し、村民一人一人に意識づけをしていく。

質問

日本で最も美しい村づくり事業が観光客にもたらす影響は。

高永企画振興課長

最近、よく耳にするのが、先般のエメラルド

質問

「日本で最も美しい村」連合に加盟して、5年間を振り返り、取り組みの成果と今後の取り組みは。

柳詰村長

地域での祭りやイベント、村内小中学校における文化及び学習活動、生活環境整備、社会福祉の増進、自主訓練や安全対策などに活用していただいている。共助による助け合い、心豊かに過ごせる社会の実現を目指している。

グリーンウオークで多くの観光客の方々から、球磨川の景観が非常にきれいになったと聞いている。

質問

県道沿いの支障木の伐採を公共事業の少ない時期に、建設業者、電力、通信事業者、行政とが役割分担し、伐採作業ができないものか。

上郡建設課長

九電やNTTと協議をして、できるだけ景観に調和をとりながら作業ができるように

協議を進めていく。

質問

教育委員会でも、美しい心を育む教育を村内各小中学校で行っていると思うが、学習活動の事例とその成果は。

友尻教育長

子どもたちが地域型の体験学習として、地域の老人会の方々の呼びかけに応じながら、地域の美化作業に取り組む活動も行っている。

質問

美しい村づくり推進における今後の課題は。

高永企画振興課長

自助でできるところは自助で、地域できるところは共助で行ってもらう。どうしてもできないところは公助で、公的機関が支援するという取り組み。心と心がつながるような地域連帯

感の醸成が必要と考えている。

質問

球磨村は四季折々の自然に囲まれ、多くの観光資源に恵まれている。観光資源についての構想は。

柳詰村長

すばらしい地域資源を、観光資源のみならず、教育体験や農業体験、交流体験等にも活用していきたい。交流人口や滞在人口を増やしていく。

質問

農業の担い手不足の解消の一つとして、障害者を多様な担い手の一つとして位置づけ、育成支援を行っていくことが不可欠だと考えられる。そこで農福連携を推進する上での課題、その解決に向けた取り組みは。

柳詰村長

熊本県でも農福連携推進会議を設置し、農業者と障害者就労事業所間のさらなる理解の醸成とマッチングの促進が大きな課題であることが確認されている。

答

心と心がつながるような地域連帯感の醸成を考えている

「日本で最も美しい村」連合の今後の取り組みは



犬童 勝則 議員

これらの取り組みを進めることで、県内各地域における農福連携がさらに進むよう取り組んでいく。

村長3期目の出馬意向は

答

引き続き村政を担う決意

質問

企業版ふるさと納税での奨学金返済支援補助金の年度ごとの推移と今後の見込みは。

柳詰村長

平成29年度から奨学金返済支援補助金を実施している。若い世代の経済的負担となっている奨学金の返済に対し支援制度を導入、実績は29年度で6名に43万2千円、30年度は6名に52万円。企業版ふるさと納税は現在2社であるが、本年度は前年度を上回る申請があると思込んでいる。

質問

奨学金返済支援補助金を受ける内容と対象者は。

高永企画振興課長

補助内容は1年間に返済した額の3分の2を5年間補助している。対象者は公務員以外で奨学金の貸与を受けて大学等に進学された方。奨学金の返済を遅滞なく返済され村税等の滞納がない方。交付申請の年齢が35歳以下で球磨村に住民票がある方などの条件がある。

質問

地球温暖化対策として※

クールチョイイスの普及や啓発は。

柳詰村長

家庭用太陽光発電システム設置に対する補助、村内各小学校へペレットストーブと蓄電池ソーラーウインド発電機の導入、また防災拠点施設への太陽光発電設備や公用車に電気自動車導入、かつ地域振興につながる木質バイオマスボイラーの導入をしてきた。クールチョイイスの活動として、村内事業所訪問、小中学生を対象とした体験型環境学習と温暖化対策事業とおした啓発を行い、これまで事業所から33社、個人から653人クールチョイイスの賛同を得た。

質問

中学生の体験型学習の内容は。

高永企画振興課長

木材の伐採から、エネルギー利用まで、木質バイオマスボイラーで樹皮を使うことにより、二酸化炭素削減につながることを学んだ。

質問

地球温暖化を抑制するため

の具体策は。

高永企画振興課長

化石燃料から天然素材を使い、節電やエアコン温度の抑制、買い物時のマイバック持参など、学校、家庭、地域でできることから始め、普及啓発につなげたい。

質問

2020年度より会計年度任用職員制度が施行されるが制度の仕組みと臨時職員等の勤務条件はどう変わるのか。

柳詰村長

9月決定された条例に基づき任用され、フルタイムとパートタイム職員となる。給与は正規職員給与表の1級または2級を適用。通勤手当、期末手当も支給となる。

質問

臨時職員で現業職はどうなるのか。

山口総務課長

スクールバス関係、村道維持のための路線整備員は民間委託する方向。委託先は球磨村山村活性化協議会を考えている。

質問

柳詰村長3期目の選挙に



田代 利一 議員

ついて、残り3カ月余りとなり、出馬意向について聞きたい。

柳詰村長 第6次球磨村総合計画に基づき大きな事業を実施中であり、今後も着実に村づくりを進めるために、引き続き、村政を担う決意をした。

※クールチョイイスとは、地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動のこと。

(例) エコカーの購入、エコ住宅の建築、エコ家電、公共交通機関利用、クールビズなど温室効果ガス排出量を削減するライフスタイルを「選択」し実践すること。



かわせみのバイオマスボイラー

質問

第6次球磨村総合計画の中で施策の展開に当たり効率的、安定的な農業経営の維持を掲げられているが、施策の取り組みと今後の方向性は。

柳詰村長

農業の担い手の育成、確保について、農業経営に意欲のある認定農業者を支援するとともに、将来の重要な農業担い手である新規就農者に対し、農業後継者育成事業補助金を給付、合わせて国の事業である農業次世代人材投資事業を活用し、就農直後の生活安定を支援している。

質問

農業の安定的な経営を進めるうえで、農地の基盤整備が重要と考えるが。

柳詰村長

モデル事業として毎床地区がまとまりつつある。一勝地、神瀬の急傾斜地は難しい。田畑等整備事業補助金で整備事業をと考えているが進んでいない。渡の中心地の基盤



渡中心の田

整備について、県と今後の方向性や調査研究をしている段階である。

質問

渡地区の基盤整備事業について、アンケート調査が行われたがその結果は。

犬童産業振興課長

111名の対象者で回収が89名、土地改良事業に賛成29、どちらでも良い31、協力できない16、回答なし5で協力できない

答

意気込みがあれば出向くことはやぶさかではない

基盤整備にかかわる姿勢は

理由として、後継者がいない、負担金が増えるを挙げておられる。

質問

後継者や負担金に不安があるから協力できないとの理由であり、これから不安を解消して行くことが大事。農業の安定的な経営を目指すということであれば、村としても積極的な働きかけや姿勢を示すべきではないのか考えを。

柳詰村長

基盤整備に向けての前向きな姿勢が必要である。意気込みがあれば出向き一緒に考えることはやぶさかではない。ただ村として強制はできない。

質問

次に、健全な財政運営の推進について、財政運営の適正化の中で、総合管理計画の内容と現在委託管理契約をされている施設について

の施設の更新、また、長寿命化についての考えは。

柳詰村長

計画期間は平成29年度から40年間。「かわせみ」「せせらぎ」「さんがうら」の施設については、建物の建築年数、利用状況により、維持保全と判断、渡、神瀬の多目的集会施設は更新検討と判断し、今後大規模改修や他施設への統合を検討する。

質問

「さんがうら」の施設について維持保全での判断だが、働いておられる方の継続や事業運営がどこまでできるのか考えは。

高永企画振興課長

「さんがうら」の目的が収益を上げるだけの施設ではなく、体験をとおして地域の方と触れ合うところでもある。受け皿が運営委員会であり話し合いや提案等で事業展開できると思う。



小川 俊治 議員

球磨村公共施設等総合管理計画と公 営・単独住宅の今後については

答 将来的な財源に対応した公共施設の適正量、管理コストの低減化に向けた対策の強化が必要になる

質問 球磨村公共施設等総合管理計画で、老朽化した住宅は計画的に建て替えをするとしているが、定住促進対策では今後も村有住宅が増加する。将来的な管理コストを考えるならば定住促進対策では村有住宅建設と宅地分譲を並行して行うべきと考えるが、村の考えは。

柳詰村長 将来的に、宅地分譲も考えていかなければならないが、用地確保が必要であり今後検討をしていきたい。

質問 納税組合の廃止で、今後の班長の定義、役割をどのように考えているのか。

山口総務課長 納税組合制度は、法律の関係でできなくなる。地区を取りまとめる班長は、今後とも納税組合以外の仕事である防災、文化的、

教育的なものを、これまで同様に協力いただければと思っている。

質問 自治会組織が存在して、それぞれが意見や要望を行い、住む人たちが共同体となっている。そ



増設予定の一勝地永崎団地

れに対し、行政指導ではなく、どの側面から支援できるか。それが行政本来のあり方だと思う。行政区をしっかりとめ集合体としてやる。これによりすばらしい自治会が成り立つ。さらに、区長と班長の役割分担をはっきりとすべきではないか。そこはしっかりと築いていただきたい。

山口総務課長 2月から3月に開催する区長会のなかで、改めて納税組合廃止に伴う班長の定義、役割について説明できればと考えている。

質問 村全体が子育て支援に対し、手厚くしていたいただいている。育て



高澤 康成 議員

る親は助かっているが、教育委員会としての学校の現状、あるいは環境が果たしてどうなのか。計画している家庭教育講演会の参加者はどうか。恐らく少ないと思うが。

友尻教育長 指摘のとおりであり、啓発、参加への働きかけをしなければと思っている。

質問 今の教育現場として、保護者と、先生とのコミュニケーションがとれていない。それぞれの拒否がある。保護者も意識改革する必要があると思うし、教育委員会としては、しっかり物事を保護者に対して言っていないと思う。今後の取り組み願いたい。

友尻教育長 一步を踏み出せていないことを申し訳なく思っている。教育という部分でも魅力をつくっていきたくと思う。そして教育の充実という部分をしっかりと考えていかなければならないし、改善する努力をしていきたい。

インターネット利用可能な避難所 拡充への可能性はあるか

答

地域公民館への整備拡充計画は立てていない

質問 インターネット利用可能な避難所拡充への可能性はあるか。

柳詰村長 今のところ計画はしていない。集落における防災体制の強化において、自主防災組織の立ち上げ強化を行っていただき、機能強化について必要な支援は行っていきたい。

質問 現在、村内各郷土芸能においては今後の活動が危ぶまれる状態にあると思っている。もう一歩踏み込んだ取り組み、対応が必要ではないか。

柳詰村長 育成や支援が必要なことから、用具等の整備について支援をしている。しっかりと意見を聞き、保存継承に努めたい。

質問 用具等の支援はいただいているが、実際の今後の活動に対する対話等は行われたか。

永椎教育課長 どのような継承だったり、どのようなことができるか、しっかりと聞きながら進めていかなければならない。

質問 現在のメンバーで限界までやるとか、または、新しい体制の模索とか、思いは色々あると思うが。

友尻教育長 子どもたちにも郷土芸能継承の部分で、何か気持ちを芽生えさせていくような取り組みを考えたい。

質問 県道において、道路の陥没がひどい箇所があり、昨年、要望をしているとの答弁があったが、何の対応も見られない。要望は伝わっているのか。また、村道岡線についてであるが、幅員の狭い道路であり、大型車同士の離合場所は設けられないか。

柳詰村長 県についての要望は提出を行っている。村道岡線については、離合箇所は、用地買収も伴うことになるので、地元とも協議をして検討していきたい。

質問 県道について、淋地区、

大坂間地区の間で数年も前から大きな道路の陥没があり、要望はしていると言われているが、何の進展も見られていないが。

上部建設課長 道路維持課に確認したところ、来年度には補強も含め改修できる予定と伺った。

質問 村道岡線については、多くの大型車の通行があっており、安全においても必要ではないか。

上部建設課長 今、調べており、地権者の方とも協議しながら進めていきたい。

質問 令和2年4月からの納税の流れについて不安を感じている。周知の徹底と対応は。

柳詰村長 周知については、村広報紙に記載し、納税組合で納付された方には、個別にお知らせをする。

質問 4月からの手続きについて、高齢者世帯等に心配している。また、周知、認識度も地域バラバラに感じているが。

境目税務課長 手続き、記入が困難な場合は、税務課に連絡いただければ記入のお手伝いするところと考えている。納税組合長説明会は開催したが、組合長さんのご要望等をお伺いした上で、組合員の方も参加できる場を設けさせていただければと考えている。



受け継がれる伝統芸能

東 純一 議員

避難所の安全性に疑問？

答 これまで経験した災害の範囲においては、
十分安全性は確保されている

質問 令和元年10月の消費税増

応は。

税に伴う景気対策として実施されて

高永企画振興課長 使用できる店舗

いるプレミアム付き商品券について、

については、医療や介護の事業所を

10月末時点で球磨村の申請率は10・

含めてお願いをしている。また、申

6%、また、使用できる店舗数につ

請率向上については、球磨村のホー

いては18店舗と県内で最下位となっ

ムページ及び広報誌によるPR、ま

ている。申請率が低い原因をどのよ

う、民生委員・児童委員会、区長会

うに考えているのか。

に対して協力依頼を行った。

高永企画振興課長 11月末時点で申

質問 神瀬地区防災広場及び

請率が14%強に、店舗数は20店舗に

建設予定の神瀬避難所は、防災マッ

なっている。また、今回の商品券事

プ上2m～5m未満の浸水地域となっ

業は、税額等の調査が必要な為、申

請手続きが複雑で面倒であること。

また、村内で使える店舗数が少ない

柳詰村長 平成29年度策定した球

ことが原因であると考えている。

磨村復興まちづくり計画に基づき調

質問 県内では、病院や介護施

査整備を行ってきた。昭和57年の洪

設等でも使用できる自治体もある。

水災害で体育館が床上浸水をした

申請の期限も迫っているが今後の対

が、当時から3mほどかさ上げして

おり、これまで経験した災害の範囲

において、十分安全性は確保され



松谷 浩一 議員

レミアム付き「得する商品券」の発
行、村内の事業者が施工する住宅リ
フォーム補助などを行い、側面から
支援している。商工業の発展は、地
域経済の循環と村全体の発展に大き
く寄与することから今後も支援して
いく。

ていると考えている。

質問 今後は、想定外

の大雨等に備える必要があ

り、神瀬地区の住民を守る

ためにもさらに数メートル

のかさ上げが必要と思うが。

柳詰村長 神瀬地区につい

ては、平成22年の閉校時か

ら地域の要望等も聞きなが

ら検討を重ねてきた。国の

採択も得ており計画通り進

める。

質問 村内商工業存続

のための、村の対応は。

柳詰村長 商工会運営とプ



神瀬防災広場報造成地

質問

村内いたるところに空き家が目立つようになってきている。空き家を放置し続けると、建物の倒壊や火災など、近隣住民の生命を巻き込む危険性があり、一刻も早い対応が必要である。特に児童の通学路などの老朽化した空き家に関しては、早急に撤去の必要があると考える。そのためにも空家等対策特別措置法の適応と空家協議会の設置が出来ないか。

質問

倒壊等のおそれのある緊急性の高い空き家に関する相談件数とその対応については。

山口総務課長

一勝地及び渡地区で3件の相談があり所有者の確認ができなかったり、通知は出しても返信がないなど、連絡がとれない状況である。

柳詰村長

村としても、基本方針に基づき空き家の所有者（管理者）の調査等に力を入れ連絡を取り、適切に管理していただきたいと考えている。

質問

9月議会で質問した獣害防止用メッキ金網に対する補助金について検討結果は。

柳詰村長

通常のワイヤーメッシュよりも網目が小さく、小動物の侵入も防ぐことができ、耐用年数も長い

質問

ことから、検討の結果、村の産業振興対策事業の補助対象品として可能であると考えている。

質問

家庭菜園に対しての補助は出来ないか。

柳詰村長

条例において補助の対象者を「農林家」と定めてあり、産業振興対策補助の観点からも家庭菜園については難しいと考える。なお、補助額の上限（10万円）、下限（2万円）については検討させていただきます。

質問

現在、人吉駅で乗り換えのための待ち時間が約50分あるためにハイスクールバスを運行している。

JR及びくま川鉄道に対しては、環境整備費や経営安定化補助金として



獣害防止用メッシュ金網

多額の予算を計上している。JRに対しては時刻表の変更など要望活動をされているがくま川鉄道に対しては時刻表の変更について要望をされたのか。

柳詰村長

村として申し入れはしたが、変更には至らなかった。

答

通常のワイヤーメッシュより効果があり、補助対象品として認める

獣害防止用メッキ金網を

補助の対象に！



議員 嶽本 孝司

災害対策について、行政もこれまでの対応を見直す必要があるのでは

答 住民が主体となった防災意識の醸成を図っていく

質問 今年も日常的といっているほど、自然災害が発生した。災害対策について、行政もこれまでの見方や対応を見直していく必要があるのではないか。

でも重要課題、大きな柱として取り組んでいる。急傾斜地などまだ多くの危険性が残っているので、実情を踏まえ、各課連携して災害の備えとして認識している。

柳詰村長 近年の災害状況を踏まえ、危機感を持ってしっかりと取り組んでいくこととしており、現在、各地域、集落を主体とする自主防災組織の立ち上げ促進や防災教育による住民が主体となった防災意識の醸成を図っていく。

質問 球磨村にとって災害への対応は最大の行政課題といっても過言ではない。球磨川をはじめ多くの河川、地滑り地域が気になるが、災害に強い村づくりがどうまでできていくのか。

山口総務課長 総合計画の中



球磨村移住・定住相談窓口（一勝地駅横コミュニティオフィス）



舟戸 治 議員

質問 保育園での災害時の対応で、ヘルメットの支給の考えはないか。

仮居住民福祉課長 防災対策の強化については、施設機能強化推進費という補助金を活用してもらえればと思っています。

質問 交通事故防止対策について、定期的な実践的な研修を通して、高齢者の運転能力を維持、改善することにより、事故防止を進めることはできないものか。

柳詰村長 当該研修については、外部への委託等ができるのかを含め、今後、検討事項とし免許証の自主返納について広報紙を通じた啓発など、高齢者による交通事故防止に向けた取り組みを検討していく。

質問 移住・定住促進事業におけるこれまでの成果は。

柳詰村長 本村では平成27年に空き家バンク制度を創設し、移住・定住を推進しているところである。本村ウェブサイトにおいても、空き家情報提供とあわせて村の特徴ある施策である子育て支援、医療費の無料化、教育福祉、防災対策の充実など、移住者が安心、安全に住むことができる情報を発信している。

質問 移住・定住促進について、今後における課題、問題点は。

高永企画振興課長 現在、多くの子育て世帯の方々から、村営住宅に入りたい。分譲地があればそこに家を建てて永住したいという話があるので、優先的に住宅建設に向けていく必要がある。

質問 高齢者に優しい村づくりについて、球磨村のひとり暮らしの現状は。

柳詰村長 ボランティアによる見回りや民生委員に定期的な訪問をお願いしている。地域包括支援係も毎月、定例民生委員協議会に出席し連携を図っている。

区長の活動内容は

答

個人宛への文書や納付書などが配布できない

質問 地方公務員法を改正する法律が、令和2年4月より施行される。これに伴い、今後どのように変わるのか。

柳詰村長 改正により、村から専任や委嘱を受けている委員は、特別職としての任用ができなくなる。現時点では、区長、交通指導員、山林委員など考えられる。施行後は、行政サービス低下につながるよう対応したい。

質問 区長の、活動内容が大きく変わることだが。

山口総務課長 身分は、非常勤特別職から私人となる。このため、公務災害の保険が適用されず、個人加入となる。また、活動では特定の個人への文書や納付書など配布できなくなり、回収もできない。宛名のない回覧文書や広報紙などは、これまで通りお願いしたい。

質問 交通指導員は廃止と聞いているが、法律的な根拠はどこにあるのか。

山口総務課長 村では特別職として位置づけているが、改正で専門的知識、経験を有する者がつく職であった。総務省で定める者に限るとある。このように、法律が厳格化されたためだ。

質問 これから、どうなるのか。

山口総務課長 交通指導員の活動は、交通安全協会の方と共に、業務委託という形でできないか検討している。

質問 役場庁舎内は、どう変わるのか。

山口総務課長 臨時、嘱託職員46人の内、35人が※会計年度任用職員へ、建設課の路線整備員やスクールバス運転手11人が外部団体に委託することで協議中である。

質問 来年4月からの、納税組合廃止に伴い、山林の共有林の徴収方法はどうかなるのか。

境目税務課長 これまで通り、共有林の代表者の方や班長へお願いしたいと考えている。

質問 昔は共有者のほとんどが地区内におられ代表者も集金しやすかったが、現在では大半の方が村外に出ておられる。徴収に時間と手間がかかり、集金できない共有者の分まで代表者の方が支払っているのが見受けられる。非常に切実な問題で、どうか解決できないかと思っ

ている。一番いい方法は、個人の固定資産税に、共有林の自分の持ち分を合算する方法が良いと思うが、法律的には可能か。

境目税務課長 効率的、公平な観点から言えば、個人的にはいい方法だと思う。しかし、今のところできないことになっている。

質問 地域に合った徴収方法も探っていかねばならない。議会内でも協議し、国への働きかけを考えたと思うが。

柳詰村長 共有林については、納税義務者が亡くなったり、所有者不明が広がり、深刻な問題になると思う。議会でも国への働きかけをお願いしたい。

※会計年度任用職員⇨正職員に準じた身分



多武 義治 議員



今後の共有林の固定資産税は

将来に向けた球磨村の課題と展望

球磨村では、「球磨村人口ビジョン」で示した目指すべき将来を展望し、第5次球磨村総合計画の内容を踏まえ「第1期、球磨村まち・ひと・しごと創生総合戦略」が平成27年度に策定されました。この施策は、令和元年度でその最終年を迎えますが、基本的な考え方をおさらいすると、本村の急激な人口減少が、本村の経済に消費市場の規模縮小だけでなく、深刻な人手不足、景気低迷を生み出し、事業の縮小や産業自体の衰退につながります。こうした地域経済の縮小は、村民の経済力低下につながり、高齢化も重なり地域社会の様々な基盤の維持が困難となります。このような人口・経済・地域社会の課題に対して一体的・持続的に取り組むとされてきました。

具体的な基本目標として、「雇用の創出」「移住定住の促進」「子育て世代の生活環境の整備」「地域の課題を解決し、安心安全で快適な生活環境整備」の4つを掲げて取り組んできましたが、残念ながら大きな成果を得ることはできませんでした。（平成27年4月～現在まで約450人の減少）これから「第2期総合戦略」においては、先に示した4つの基本目標に向けた取り組みを実施するに当たり、新たな視点を取り入れて施策が推進されます。

これまで村は、今できることに精一杯取り組んできました。しかし、その多くは行政主導で補助金依存型であったと言わざるを得ない状況です。これからは財政面での支援は必要だが民間の技術やノウハウ等取り入れた協働による取り組みが重要になります。また、私たち村民誰もが地域社会をつくる一員としての意識を持ち「活力ある球磨村の実現」に向けて歩んでいかなければならないと思います。

東 純一・松谷 浩一



新たな視点

- ① 地方へのひと・資金の流れの強化
- ② 未来技術の活用（Society5.0）
- ③ 人材を育てる
- ④ 民間と協働する
- ⑤ 誰もが活躍できる地域社会をつくる
- ⑥ 地域経営の視点で取り組む

議会傍聴にお越しく下さい。

（どなたでも傍聴できます。傍聴席 30 席）
 今回は、3月定例議会（日時未定）

編集後記

「今年こそは」と新年の覚悟を決めますが毎年反省ばかりで1年が過ぎ去ります。

議会だよりも96号となります。10年前の1月発行は59号でした。読み返してみますと、これまでの広報委員の方々の苦労の跡が見えます。広報活動も皆様に読まれ、議会活動がわかる紙面作りを目指し取り組んできましたが納得いただけるものになってきているのかと思うとき、まだまだとの感じが致します。

今年1年、議会内容、活動をお届けするために、広報委員未熟ではございますが努力してまいる所存です。引き続きご愛読をお願い申し上げます。

小川 俊治

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一
委員	松谷 浩一

■球磨村世帯数:1,447世帯 ■人口:3,584人 男:1,696人 女:1,888人(令和2年1月1日現在)